

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(泉小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 委員全員で意見を出し合い、教育活動の充実のために、協議会の合意として意見をまとめる。
- 学校運営の基本方針にそった提案内容を考え、協議会としての成功体験を増やす。
- 何について熟議が必要かを委員自身が考えて意見を出し、内容のある話し合いにする。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長の説明を受け、「主体的な学び」や「キャリア教育」の推進について熟議を行い、学校が「目指す子供の姿」実現に向けて取り組んでいることを具体的に理解できた。
- 学校の教育活動が、これからの未来を生き抜くために必要な力を身に付けさせることに主眼を置いている点に共感でき、次の課題や今後の方向性も明確になった。
- 学校経営の根底に据えられている「共創」についての熟議が足りないと感じた。学校・地域・家庭がどのように連携を取っていくかの熟議を深めていきたい。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 登下校の見守り、挨拶運動、学習ボランティア等の活動を通して、学校、家庭、地域が連携しての取り組みが少しずつ進み、熟議の内容も意味のあるものになってきた。
- いじめ防止、学校評価について、学校運営方針に即した視点で熟議ができた。学校、地域、家庭のそれぞれの役割を確認し、情報共有を充実させ、さらに熟議を深めたい。
- 学校支援充実に向けた地域活動や人材のさらなる活用法、自治会以外の社会活動団体との連携の取り方等について考えていきたい。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 挨拶運動に関しては、児童にポスターを作ってもらって町内に掲示したり、地域の回覧やHPを活用したりして、情報発信を充実させることができた。
- 活動の周知はできても、それが学校運営協議会の協議を経たものであることが知られていない。学校運営協議会の存在をさらに広く知っていただくため、興味のもてる情報発信の仕方について工夫していきたい。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 学校の実態や児童の様子を知り、各々の役割を理解し、それぞれの専門性を生かしながら学校を支援しよう。
- 承認した学校運営の基本方針を、学校運営協議会からも発信・周知し、学校教育目標の具現化に向けた学校支援活動を充実させよう。